

地域からの
情報発信

美しい自然 風景に感謝！

水土里レポーター 渡辺 政彦
(由利本荘市滝沢堰土地改良区事務局長)



由利の大地の真ん中を今日も『おばこ』が行く！

今、何気なく窓から外を見渡すと、黄金色に染まった田園が秋の青空に覆われ、その真ん中をいつもの『おばこ号』がディーゼル音を響かせて『ガタンゴトン』と疾走しております。

そんな、ここ秋田県沿岸南部『由利本荘市』、そのやや中央付近の由利地域(旧由利町)を走る『由利高原鉄道』を紹介いたします。

由利高原鉄道(鳥海山麓線)は、昭和60年国鉄矢島線を引き継ぎ第3セクターとして誕生しました。日本海に面する羽後本荘駅から鳥海山の麓である矢鳥駅までの全長23kmの単線でこの地域の大切な足となっております。

ディーゼルカーの車両は『おばこ号』の愛称で親しまれ、勇壮な鳥海山を仰ぎながら、美しい田園地帯を清らかな子吉川に沿って走る素朴で懐かしい車窓と、『秋田おばこ姿』の列車アテンダントが人気です。中間地点の前郷駅では旅客鉄道としては珍しい『タブレット交換』を見る事もでき、これが本州では残り2線区(全国では3線区)のみとなったため鉄道ファンの注目も集まっています。

毎日約1時間おきに14往復、朝と夕方のラッシュ時は2両編成、それ以外は1両単独で可愛らしく駆け抜けております。

年間を通じて季節に合わせて盛りだくさんのイベント列車を運行しており、例えば『こいのぼり列車』『七夕列車』『納涼ビール列車』『かかし列車』『ワンコイン(500円)ツアー企画』等々、年間20前後のイベントで盛り上げております。

こちらにお越しの際は、是非『おばこ号』に乗車して、この地域の心優しい人情に触れ大自然を満喫していただければ幸いに存じます。

(資料及び写真提供：由利高原鉄道)

お問い合わせ先

詳しい内容は、由利高原鉄道にお問い合わせ下さい。

TEL 0184-56-2736

ホームページ <http://www.obako5.com/>



秋田おばこ姿の美人アテンダント！



まばこが！
ガタ〜ン！
ゴト〜ン！



タブレット交換して発車オーライ！



大仙市大曲土地改良区

事務局長 進藤 峰晴

本土地改良区は、雄物川を挟む旧大曲市街地西部の左岸地区と南部の横手市、美郷町に境を接する右岸地区の比較的平坦な地域にあり、用水源は雄物川・大戸川及びため池となっています。

平成14年12月に、4土地改良区による新設合併として設立され、合併以前の状況は、圃場整備完了による大区画(1ha)地区や、30a圃場毎のパイプかんがい地区、更に、ため池又は地下水を利用した数十ヵ所の補助揚水機等、合併地域の実情に大きな違いがありました。頭首工・ため池等のかんがいと比較し、揚水機などの電力費用は、運営に大きな負担となっております。

当土地改良区の一部の地域においては、大正年代に揚水機運転に必要な電力を求め、遠く離れた奥羽山系に自家水力発電所2ヵ所(合計出力339キロワット)を設置し、非かんがい期は売電するという画期的な事業運営をしておりましたが、施設の老朽化等の事情により、あえなく断念せざるを得なかった歴史もあります。

合併後においては、前記のとおり地域事情による維持管理体制とそれに伴う地域別賦課形態の継続としながらも、経常賦課金については組合員の理解のもと、当初から均一化を図り以後は軽減してきているところです。

一方、当管内全般の施設は老朽化が著しく、現在、隣接土地改良区と併せ国営旭川地区かんがい排水事業により、頭首工の改修に向けた調査並びに実施設計等の段階に入ってきております。

また、揚水機やパイプラインの更新並びに改修の事業や一部未整理地域を含む300ha以上の圃場整備事業に向けた推進等、全体において抱える課題を克服すべく組合員の理解はもとより、先人に学び役職員一丸となって土地改良施設整備と組合員の負担軽減、将来営農への継承となる基盤整備に向けて努力していかなければと考えております。

大戸川頭首工



「随想」

シリーズ③

我が家の可愛い王子さま

能代市榊土地改良区 茂木 順子



私には十歳と五歳になる息子がおります。私にとっては可愛い王子達ですが、男兄弟ともなればパワフルで騒がしくて言う事を聞かないのが当たり前。「ママって男鹿のなまはげみたい」と言われながら毎日朝から晩まで王子達との戦いを繰り返しています。

しかし王子達もズルイというか賢いというか：「これはマズイ!!」と察知すると絶好のタイミングで甘えてきては私の雷を回避しています。甘えてくる姿がたまらなく可愛いので私もついつい許してしまいます：親バカですね(笑)

そんな元気一杯に育つ中、今年の二月から上の王子がスポ小でバスケットを始めました。

スポーツをすることで技術面を磨く事は大事ですが、心身共に遅しくなること挨拶や礼儀を学ぶこと仲間の大切さを感じて欲しいなど私は思っているところです。

入団してもうじき半年を過ぎようとしています。まだまだ体力がなく練習に付いていくのに必死ですが、怖がっていたボールキャッチ

が出来るようになり、届かなかったシュートが決まるようになり、飛べなかつたりバンドに少し反応出来るようになりました。

少しずつではあるけれど確実に成長していること、本人が楽しいと言って練習に取り組んでいる姿がとても頼もしいです。

私と一緒に付いて歩く下の王子もいつの間にかドリブルが上手になり汗を流してボールと遊んでいます。数年後、兄弟で同じコートに立つプレーする日が来るのでは!?!と夢みながら楽しみに待ちたいと思います。がんばれ!! 可愛い王子たちよ!!



右が長男の優斗くん 左が次男の駿斗くん

平成25年度

秋田県土地改良事業推進大会

- 平成25年11月1日(金) 午後1時00分
- 仙北市「仙北市民会館」 仙北市田沢湖生保内字武蔵野105-1

今年は
仙北市で
開催!!

第136回 秋田県種苗交換会

「農業農村整備フェア」を開催します!

農業の祭典『第136回秋田県種苗交換会』が、10月31日～11月6日まで仙北市を会場に開催されます。期間中、水土里ネット秋田では農業農村整備事業のPRのため県内国営事務所、秋田県、秋田花まるっG T協議会と共催で参考展示「農業農村整備フェア」を協賛第1会場で開催します。皆様の来場をお待ちしております。

期間: 平成25年10月31日(木)～11月6日(水)9:00～16:00

場所: 協賛第1会場(生保内武道館駐車場)

内容: 各種パネル・事業模型の展示、土地改良相談コーナー、カレンダー作成など



昨年の農業農村整備フェアの様子



野山の花

ツククサ(露草)



ツククサ科ツククサ属の一年生植物。畑の隅や道端で見かけることの多い雑草である。茎は地面を這い、花弁は2枚しかないように見えますが、じつは小さくて目立たない白っぽい色の3枚目の花弁があります。

花の色素は、友禅染めなどの描染の下絵用の染料として用いられてきました。

開花時期は、6～10月末頃。

花言葉：豊潤 恋の心変わり 尊敬。

(2013.9.12 秋田市)

第14回 写真美村し コづく豊 ンくりか ンナー ル

募集テーマ: 秋田県内の農業生産、農村の生活・文化などを幅広くとらえた農村風景の作品。入賞者には、賞状と副賞を贈呈します。

1. 水土里ネット会長賞 1点(副賞30,000円相当)
2. 優秀賞 5点(副賞10,000円相当)
3. 入選 10点(副賞5,000円相当)

応募締切: 平成25年12月25日

一般(高校生以上)を対象に作品を大募集しています!!

応募先・問い合わせ先

〒010-0967 秋田市高陽幸町3-37
水土里ネット秋田(秋田県土地改良事業団体連合会)
総務企画部 広報・渉外班 あて
TEL.018-888-2742 FAX.018-888-2834

作品
募集集



編集 後記

秋と言えば《芸術の秋》、《スポーツの秋》、《食欲の秋》…あなたはどの《秋》ですか? 先日、「あきた体験農園」で保育園の皆さんを交えてお芋掘りをしました。「よっこらしよ、どっこいしょ」とまるで大きなカブのごとく芋のツルを引っ張る子供たち。そんな姿を見ているだけで、こちらもほっこりと温かい気持ちになれました。持ち帰ったお芋は、焼き芋にでもなるのかな?子供たちにとって、普段は経験することが出来ない貴重な体験になったと同時に、大人にとっても久々に頬が緩む、楽しい秋の1日でした。寒かったり、暑かったりと今年の秋は体調管理が難しいですね。これから冬が来ると思うと気分も滅入りますが、おいしいものでも食べて元気に冬を乗り越えましょう!(広報・渉外班◆寺山)

